

福祉サービス第三者評価総合コメント

特に力を入れて取り組んでいること
新しい保育理念の共通理解を図り、実現のため保育実践に取り組んでいる
園の理念を新しく明文化したため、全職員が本社主催の理念研修を受講し理解を深めてきた。園においては理念に基づいた保育を実践するため、職員と話し合いを重ね園としての方向性を見出している。職員一人ひとりの保育観を大切にしつつ、目指している保育への共通理解を図っており、今後が期待できる園である。
研修体制が整備されており職員には多様な学びの機会を提供している
会社の研修体制がよく整備されており、入社前研修から始まり新卒、2・3年目、4・5年目の職員が受講している。選択式の研修もあり自宅でネットで学ぶこともできる。新人職員を指導する職員にはメンター研修を実施している。園でもキャリアアップ研修など外部研修への派遣や、定期的な園内研修で職員の資質の向上を支援している。
子ども一人ひとりの個性と成長に応じた保育を行っている
園の保育理念である「自分らしく生きていくことのできるこどもを」をもとに、個々が主体的に遊びを選択できるように環境を整え、職員は子ども一人ひとりの意思を尊重した保育に努めている。子どもの自発性を発揮できるようなかかわりや、自分の興味関心に没頭できる環境づくりを心がけ、翌日に今日のブロック制作の続きができるように保育室内にはあえて子どもが遊んだ痕跡を残すなど、遊びの継続性などにも配慮している。
食育活動や保健活動は、手作りの教材でわかりやすく伝える工夫をしている
年間の食育計画や保育計画をもとに栄養士や看護師、担任が子どもたちに食事や健康・衛生面などの知識や生活習慣が自然に身につくよう、取り組んでいる。食育では、園の畑やプランターで野菜を栽培し、収穫した野菜を使つてのクッキングで野菜に直接触れたり、旬の食材クイズを絵や写真を使って手作りし、写真をめくって遊ぶことで、1、2歳児も遊びながら学べるよう工夫している。また、保健指導でも、大きな歯の形と歯ブラシを手作りして、子どもたちに分かりやすく歯ブラシの仕方を伝えるなど、子どもが興味を持って学べるよう工夫している。
さらに取り組みが望まれるところ
園の機能や専門性を活かした地域の子育て世帯へのさらなる支援に期待したい
散歩や公園で地域の人と挨拶を交わしたり、近くの高齢者施設を訪問し歌や遊戯を披露するなど世代間交流をしている。また、園見学では保護者の相談等にも乗っている。地域の子育て世帯のニーズを把握し、園の機能や専門性を活かした地域貢献のさらなる取り組みを期待したい。
事業計画を推進する体制と仕組みをつくるのが期待される
事業計画が策定されており園の課題について取り組み、年度末には実績をまとめ事業報告書としている。なお、事業計画書には年度の重点課題を明示することや、年度の途中にも取り組みを振り返ることができる。園として事業計画を推進する体制と仕組みを作ることが期待される。
子どもの保育内容や心身の状況について、保護者への詳しい伝達を目指している
登園時には保護者と子どもにあいさつを交わし、家庭での様子を聞き取りその日の保育の参考にしている。送迎時には対応する職員が子どもの1日の様子を伝えられるよう、担任がいなくても引き継ぎを十分に行えるよう努めている。今後は、さらに食事や午睡の状況、友達との関りの様子など、子どもの日々の保育内容や心身の状況について、保護者に伝えることを目指している。

(評価を受けて、受審事業者の取組み)

今回保護者の皆様にはアンケートにご協力をいただきましてありがとうございました。ご指摘いただきました件につきましては、改善をし、安心・信頼していただけるよう努めて参りたいと思います。また、今回受審したことにより、園全体としての課題も明確なものになりました。職員一同で共有し、課題に向けて取り組み更に園が成長できるよう努力していきたいと思っております。